

R2年度NPOほっと放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	意見、改善点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1	0	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に入る階段や廊下やトイレなどに段差があるので ・廊下の段差、死角になる箇所がある ・建物のエレベーターが2階から上しかない。廊下の段差が大きい。 ・物件の構造上、変更は難しい。 ・建物の構造 階段
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤なので、会議等には参加できていませんが、支援業務終了後に意見を聞いてくださったりして、改善へつなげてくださっていると感じています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できる事はやっているがどうにもならないこともあるので
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を受けた事がない 何度も検討しているが、実施したことがないので、検討してもいいと思う ・評価会社による評価は行っていないが、選択肢も広がり、利用者からの評価は常日頃行われている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	0	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	7	2	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ツール使用の検討はしたが、使用には至っていない。スタッフの入れ替わりが激しい大規模の事業者ならメリットがある可能性があるが、同じスタッフが基本的に対応する小規模の事業者での必要性は疑問。 →今年度から新規利用者に使用しているが結果の共有を今後進める。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのプログラムの立案は利用者と相談して個別に行なっている。全体的な活動プログラムは利用者のリクエストも聞きながら、外部の講師と職員が相談しながら立案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2	1	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ではない ・一部の職員間でしか役割分担や内容確認できていない →職員間の業務連絡にLineグループなどの共有機能を使用し情報共有の円滑化を図ります。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	1	0	・一部の職員間でしか情報共有できていない →同上
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	0	・日誌を付けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1	1	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	0	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	0	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4	1	0	・保護者を通して必要な対応について聞いている。直接主治医と連絡を取ることはない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	0	0	0	・桜の宮ほっととの情報共有はある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する準備はあるか	7	2	0	0	・必要に応じて、支援計画、報告書を提供することは可能。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	0	0	
	26	障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	4	0	・わかりかねます ・イベントで兄弟姉妹たちと一緒に活動することはある。 ・イベントなどで兄弟が参加する機会がある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	2	1	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	3	0	→保護者のニーズを見ながら実施形式などを含めて検討したい。
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	0	
	32	保護者同士の連携を支援しているか	4	3	2	0	→例年、保護者参加のお出掛けやイベント、保護者を対象とした学習会を企画したりしているが、今年度は難しく、コンテンツの発信やZOOMを活用した学習会など今後検討していきたい。

任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	2	0	→今後、地域に広く開かれた支援をしていきたいと思っているが、感染症対策や子どもたちの障害特性を考えると放課後等デイサービスの事業内では限定的。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	0	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	0	0	→引き続きケースにり対応してゆく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	0	0	

令和3年1月実施 配布16回答9